

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 安住作成日: 平成 31 年 3 月 30 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	職員不足のため、地域の活動や行事への参加が困難な状況である。職員配置を工夫して人員にゆとりを持たせ、地域交流に取り組み、地域との関係を築いていく。	運営推進会議へ地域の方の参加を増やし、地域の情報を得て、様々な課題解決に向けて取り組み、地域の中での存在感を示し、地域から頼られるホームを目指していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	一部の利用者の重度化が進んでいるが、元気な利用者もいるので、利用者の希望を聴きながら、個別の外出支援に取り組んでいく。	ボランティアや家族の協力を得て、利用者が安全に外出できる体制を築き、利用者の気分転換を図っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。